

第 68 卷 第 1 号 執筆者紹介

- 中川 淳司 1955 生，東京大学社会科学研究所教授
主著 『資源国有化紛争の法過程』（国際書院，1990 年），『国際経済法』（有斐閣，2003 年，第 2 版，2012 年），『経済規制の国際的調和』（有斐閣，2008 年），『WTO 貿易自由化を超えて』（岩波書店，2013 年），*Managing Development : Globalization, Economic Restructuring and Social Policy* (Routledge, 2006), *International Harmonization of Economic Regulation* (Oxford University Press, 2011)
- 若狭 彰室 1984 生，立教大学法学部助教
主要業績：「『戦争が条約に及ぼす効果』の正当化原理」『国際法外交雑誌』第 111 卷 1 号，(2012)；「『条約』とは何か？」『国際関係論研究』第 31 号 (2015)；「伝統的国際法における『戦争が条約に及ぼす効果』の理論」『国際法外交雑誌』第 114 卷 3 号 (2015)
- 小栗 寛史 1991 年生，九州大学大学院法学府博士後期課程・日本学術振興会特別研究員 (DC2)
論文 「紹介 Hugh Thirlway, *The Sources of International Law*」『国際法外交雑誌』第 115 卷 (2016 年) 212-216 頁：「オッペンハイムの慣習国際法理論——黙示の同意と国際法の普遍性——」『法政研究』（九州大学）第 83 卷 (2016 年)〔近刊〕
- 新谷 里美 1990 年生，東京大学大学院総合文化研究科博士課程 日本学術振興会特別研究員 DC1
- 菅野 直之 1985 年生，東京大学公共政策大学院 特任助教
主著 「19 世紀後半から 20 世紀初頭の国際法における『海賊行為』概念—反乱団体と海賊—」『国際関係論研究』29 号 (2012 年) 49-80 頁，「海洋境界画定国際合意の研究—島の存在と海底の特徴が及ぼす影響を中心に—」『日本海洋政策学会誌』6 号 (2016 年) 26-41 頁
- 開出 雄介 1991 年生，東京大学大学院法学政治学研究科博士課程 大学院生